Ether 98-T

取扱説明書・Windows®98 編

この度は、「corega Ether 98-T」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をWindows98のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、「corega Ether 98-T 取扱説明書」(保証書)とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。そのため、手順などが正式版の Windows98 におけるものとは異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

注意

ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては手順や表示画面が異なることがあります。なお本書では、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROMの各ドライブ名を、それぞれ「B:」、「A:」、「D:」と仮定しています。

目次

1 Windows98 へのインストール 1
- 1.1 用意するもの 2
- 1.2 ドライバーの新規インストール 2
- 1.3 インストールの確認とアダプターの設定 3
- 1.4 ドライバーの更新 4
- 1.5 ドライバーの削除 6
- 1.6 ドライバーの再インストール 6

2 ドライバーのトラブル 7
- 2.1 本製品を認識しない 7
- 2.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く 7
- 2.3 リソース値重複の回避 7
- 2.4 本製品を LEGACY モードで使用する 7

3 ネットワークのトラブル 11
- 3.1 LINK LED は点灯していますか？ 11
- 3.2 LINK LED は点灯しているが 11

おことわり 11

1 Windows98 へのインストール

本製品のドライバーをWindows98にインストールする手順は、お客様の環境によって異なります。次の図を参考にして、正しい手順でインストールを行ってください。

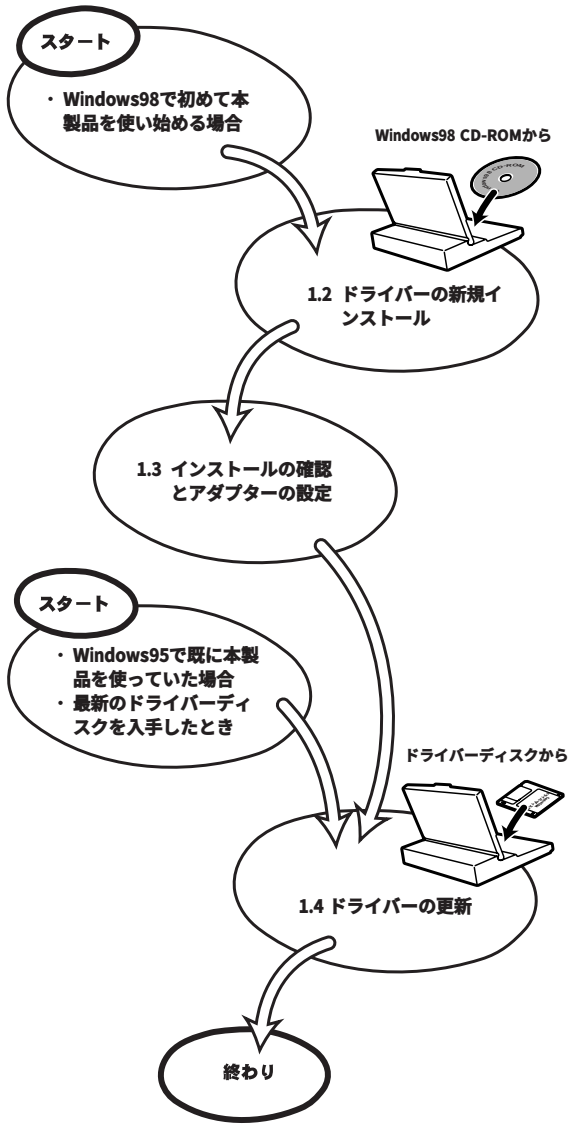

図 1.0.1

PN J613-M0442-00 Rev.A 980721

■ Windows98で初めて本製品を使い始める場合(例えば、次に挙げるような場合)は、まず「**1.2 ドライバーの新規インストール**」を実行し、次に「**1.3 インストールの確認とアダプターの設定**」にしたがってインストールの確認を行った後、「**1.4 ドライバーの更新**」に進んでください。

- 新規インストールしたWindows98に本製品のドライバーをインストールする場合
- プリインストール版Windows98に本製品のドライバーをインストールする場合
- Windows95 から Windows98 にアップグレードしたが、Windows95 では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める場合

新規インストールでは、Windows98のCD-ROMから本製品のドライバーをインストールします。Windows98のCD-ROMに収録されている本製品のドライバーは初期バージョンです。これをそのまま使用することも可能ですが、最新ドライバーへの更新をお薦めします。

■ また次のような場合は、「**1.4 ドライバーの更新**」で述べる手順にしたがってドライバーの更新を行ってください。

- すでに Windows95 で本製品を使用している状態から Windows98 にアップグレードした場合(次の?を参照)
- 弊社のホームページ(**http://www.corega.co.jp/**)から最新のドライバーを入手した場合

? この場合、Windows98 へのアップグレード時に、Windows98 の CD-ROM から本製品のドライバーが自動的にインストールされます。Windows98 の CD-ROM に収録されている本製品のドライバーは初期バージョンです。これをそのまま使用することも可能ですが、最新ドライバーへの更新をお薦めします。

1.1 用意するもの

- corega Ether 98-T アダプター
- コンピュータ(Windows98 インストール済み)
- 本製品付属のドライバーディスク
- Windows98 の CD-ROM

警告 Windows98が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわち**プリインストール版**である場合は、Windows98 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクに Windows98 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、Windows98のCD-ROMからインストールされます。

(1) コンピュータの電源をオフにし、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

(2) 本製品の AUTO/LEGACY 切替スイッチを「AUTO」に設定し、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けます。取り付け手順の詳細については、「corega Ether 98-T 取扱説明書」の「2.2 パソコンへの組み込み」、およびコンピュータのマニュアルを参照してください。

注意 AUTO/LEGACY 切替スイッチを「AUTO」(自動検出モード)に設定した場合、本製品はコンピュータがPlug & Playに対応しているかどうかを自動的に検出し、対応しているときは「Plug & Play モード」、対応していないときは「従来の C バスモード」で動作します。通常、Windows98 で本製品を使用する場合は「AUTO」に設定してください。ただし、「**AUTOモードではどうしてもうまく動作しない**」、「**Plug & Playを使わずに手動でリソースを設定したい**」といった場合は、「**2.4 本製品をLEGACYモードで使用する**」を参考に、手動で本製品の設定を行ってください。

(3) コンピュータの電源プラグをコンセントに差し、コンピュータの電源をオンにして、Windows98 を起動してください。

(4) Windows98によって本製品が検出され、図1.2.1の「新しいハードウェア」ダイアログが表示されます。続いて、図1.2.2のダイアログが表示され、本製品のドライバーと、ネットワークを使用するために必要なファイルのインストールが自動的に開始されます。

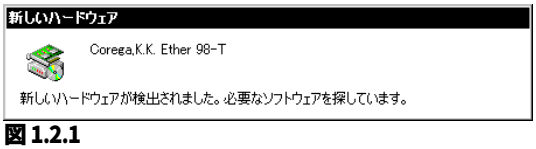

図 1.2.1

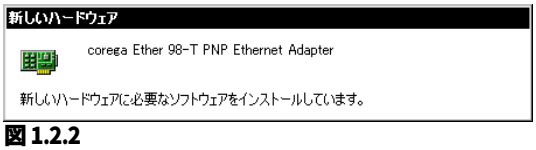

図 1.2.2

(5) 次のダイアログが表示されたら、CD-ROM ドライブに Windows98 の CD-ROM を挿入し、「OK」ボタンをクリックしてください。

図 1.2.3

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:\WIN98N」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

図 1.2.4

(6) ファイルのコピーが終了すると、再起動を促すダイアログが表示されます。「はい」をクリックして、コンピュータを再起動してください。

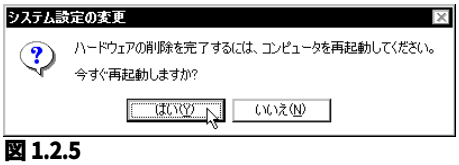

図 1.2.5

注意 インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

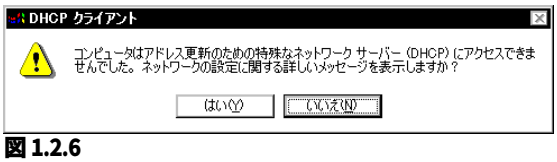

図 1.2.6

(7) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「**1.3 インストールの確認とアダプターの設定**」にお進みください。

1.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

図 1.3.1

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に本製品の名前(「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」または「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」)が表示されます(次の「アダプター名について」もご覧ください)。

図 1.3.2

注意 **アダプター名について** Windows98 付属のドライバーと本製品付属のドライバーでは、ダイアログボックスなどに表示される本製品の名称が次のように異なります。

Windows98 CD-ROM 収録のドライバー
「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」
本製品付属ドライバーディスク収録のドライバー
「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」

どちらも手順は共通です。随時読み替えてください。

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークが付いていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「**2 ドライバーのトラブル**」をご覧ください。

(3) 本製品のアイコンを選択(反転表示)し、「プロパティ」→「全般」と進みます。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

図 1.3.3 デバイスの状態

(4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

図 1.3.4　リソースの確認

2. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。下記の図1.3.5はあくまでも設定例です。設定に関する詳細は、Windows98のネットワークの設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。

図 1.3.5　ネットワークの設定

1.4 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときや、Windows95からWindows98へアップグレードした場合に実行します。

(1) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入してください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される本製品のアイコン(「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」または「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」)を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください(図 1.3.2 参照)。

(3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。

図 1.4.1

(4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。「次へ>」ボタンをクリックしてください。

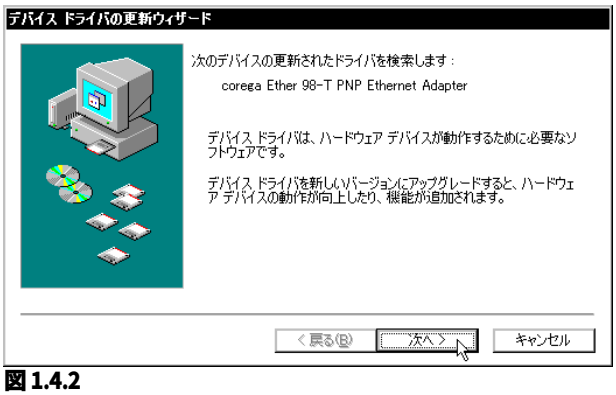

図 1.4.2

(5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

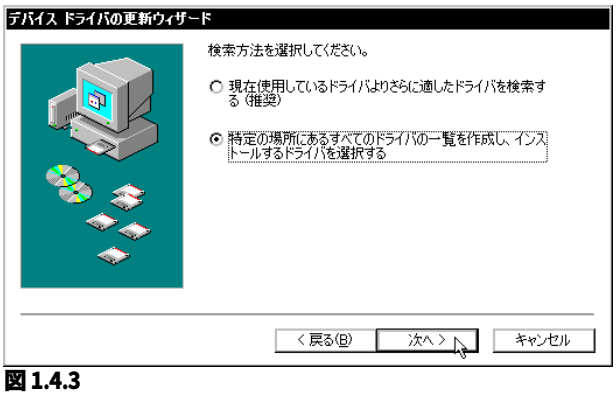

図 1.4.3

(6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックします。この画面は図 1.4.6 とよく似ているので、混同しないようにご注意ください。

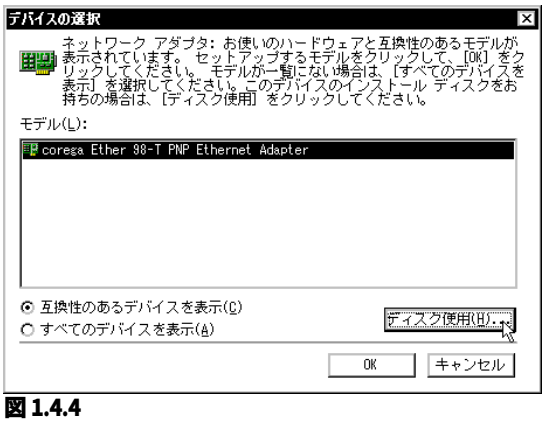

図 1.4.4

(7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「B:\windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

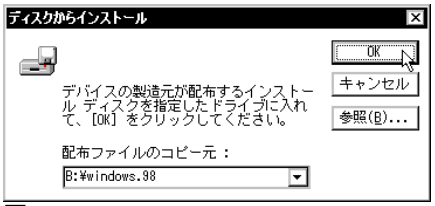

図 1.4.5

(8) Windows98 によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。図 1.4.7 の画面に切り替わるまで若干時間がかかります。そのまましばらくお待ちください(1～2 分)。

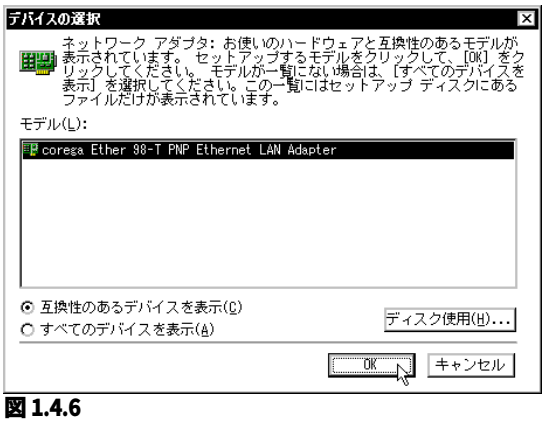

図 1.4.6

注意

アダプター名について　Windows98 付属のドライバーと本製品付属のドライバーでは、ダイアログボックスなどに表示される本製品の名称が次のように異なります。

Windows98 CD-ROM 収録のドライバー
「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」
本製品付属ドライバーディスク収録のドライバー
「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」

どちらも手順は共通です。随時読み替えてください。

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「B:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」となっていることを確認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

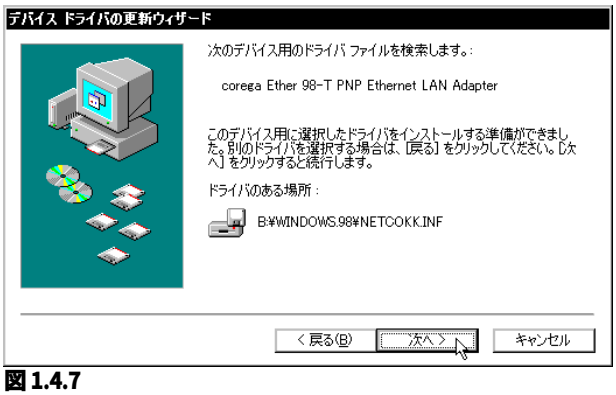

図 1.4.7

(10) CD-ROMの挿入を要求するダイアログが表示される場合は、「**1.2 ドライバーの新規インストール**」の**手順(5)**を参考にしてください。

(11) ドライバーディスクから本製品のドライバーがインストールされ、続いて本製品のドライバー以外のファイルがCD-ROMからハードディスクにコピーされます。

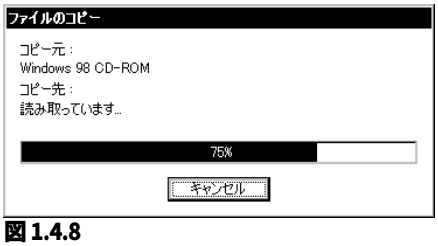

図 1.4.8

(12) 次のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてください。

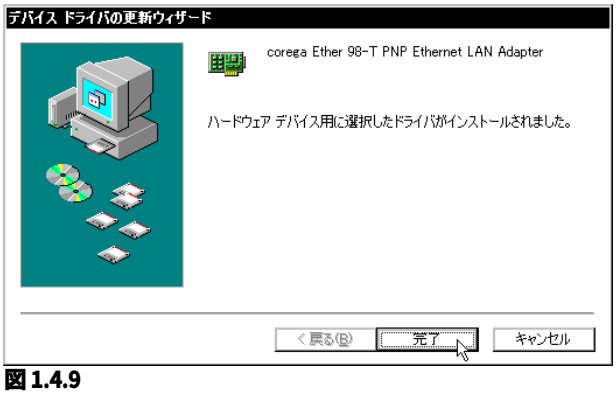

図 1.4.9

(13) フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

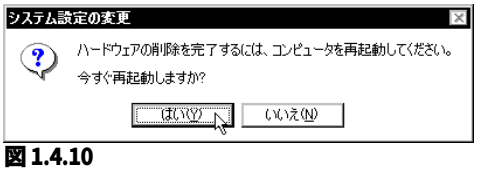

図 1.4.10

1.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合は、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される本製品のアイコン(「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」または「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」)を選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。

図 1.5.1　ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 1.5.2　デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

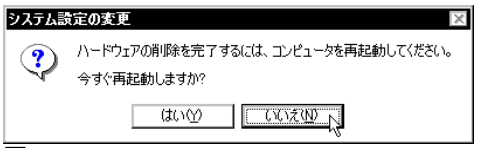

図 1.5.3

(4) 「ネットワークアダプタ」の下から本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。

図 1.5.4　削除後のデバイスマネージャ

(5) Windows98 を終了し(「スタート」→「Windows の終了」→「電源を切れる状態にする」)、コンピュータの電源をオフにします。

(6) コンピュータの拡張スロットから本製品を取り外してください。次回の Windows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

1.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) 「**1.5 ドライバーの削除**」の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。

(2) 「**1.2 ドライバーの新規インストール**」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

2 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

注意

以下の手順は、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で行ってください。

2.1 本製品を認識しない

「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、本製品のアイコン(「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」または「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」)の表示が次のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

1 正常にインストールできない

2 本製品が検出されない

3「ネットワークアダプタ」の項目がない

4「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった

5 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く

「3」や「4」のような障害は、ドライバーのインストール中に行われる Windows98 関連ファイル(netapi.dll など)のインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

(1) 不正にインストールされた本製品のアイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

(2) 「**1.5 ドライバーの削除**」の**手順(2)**に進みます。

2.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャで本製品のアイコン(「corega Ether 98-T PNP Ethernet Adapter」または「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」)に「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

(1) 本製品のアイコンを選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図1.3.1～1.3.3参照)。

(2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

2.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows98 に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

(1) Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細については、その拡張アダプターのマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「コンピュータ」→「コンピュータのプロパティ」パネル→「リソースの予約」と進みます。

(3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

2.4 本製品を LEGACY モードで使用する

「**Autoモードではどうしてもうまく動作しない**」、「**Plug & Playを使わずに手動でリソースを設定したい**」といった場合は、本製品の AUTO/LEGACY 切替スイッチを「LEGACY」に設定し、ドライバーディスクに収録されている「CFG98.EXE」を使って、I/Oアドレスとインタラプト(IRQ)を手動で設定します。すでに「**1.2 ドライバーの新規インストール**」にしたがってドライバーをインストールしている場合は、以下の手順を実行する前に「**1.5 ドライバーの削除**」を実行してください。

1. 空きリソースの確認

本製品をLEGACYモードで使用するときは、リソース値の重複を回避するため、あらかじめコンピュータの空きリソース(I/Oアドレスとインタラプト(IRQ))を調べておく必要があります。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進み、「コンピュータ」アイコンを選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。

図 2.4.1

(2) 「コンピュータのプロパティ」ダイアログが表示されます。「リソースの表示」タブをクリックし、「割り込み要求(IRQ)」ラジオボタンを選択してください。現在使用されているIRQの一覧が表示されます。

図 2.4.2

本製品では、使用するIRQを次の7つから選択できます。図2.4.2の例では、「3」、「6」、「10」が空いています。

(1) IRQ 3　　(2) IRQ 5
(3) IRQ 6　　(4) IRQ 9
(5) IRQ 10(A)　　(6) IRQ 12(C)
(7) IRQ 13(D)

(注)下線の値は、LEGACYモードで動作させるときの工場出荷時設定です。また、括弧内は16進表記です。

(3) 「I/Oポートアドレス」ラジオボタンを選択してください。現在使用されているI/Oアドレスの一覧が表示されます。

図 2.4.3

本製品では、使用するI/Oアドレスを次の7通りから選択できます(16進表記。連続する32のアドレス)。図2.4.3の例では、「0xC8D0 ～ 0xC8EF」、「0xC2D0 ～ 0xC2EF」、「0xC4D0 ～ 0xC4EF」などが空いています。

(1) 0xC8D0 ～ 0xC8EF　　(2) 0xC2D0 ～ 0xC2EF
(3) 0xC4D0 ～ 0xC4EF　　(4) 0xC6D0 ～ 0xC6EF
(5) 0xC9D0 ～ 0xC9EF　　(6) 0xCAD0 ～ 0xCAEF
(7) 0xCBD0 ～ 0xCBEF

(注)下線の値は、LEGACYモードで動作させるときの工場出荷時設定です。

2.「CFG98.EXE」による本製品の設定

空きリソース値の確認が終わったら、アダプター設定ユーティリティ「CFG98.EXE」を使用し、本製品の設定を行います。

(1) 本製品のAUTO/LEGACY切替スイッチを「LEGACY」に設定し、本製品をコンピュータに取り付けてください。「CTRL」キーか「f･8」キーを押したまま、コンピュータの電源をオンにします。

(2) 「Microsoft Windows 98 起動メニュー」が表示されたらキーを離し、カーソルキーの「↑」「↓」で「**5. コマンドプロンプトのみ**」を選択して、「RETURN」キーを押してください。

(3) 本製品のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、アダプター設定ユーティリティ「CFG98.EXE」を起動します。

```
A:\>B:
B:\>CFG98
```

注意 「CFG98.EXE」は、Windows98の中から起動された「MS-DOSプロンプト」上では正常に動作しませんのでご注意ください。

(4) 次のような「項目選択」画面が表示されます。本製品のハードウェア設定を変更するには、カーソルキーの「↑」「↓」で「Lan Adapter の設定変更」を選択し、「RETURN」キーを押します。作業を中止するときは、「ESC」キーを押してください。メッセージ表示後、プログラムが終了します。

```
項目を選んでください.

Lan Adapter の設定変更.
Lan Adapter の自己診断.
```

(5) 現在のI/Oアドレスを選択します。設定値を忘れてしまったときは、「Auto Scan Start」を選択してください(「Auto Scan Start」が現れるまで、カーソルを下に移動してください)。工場出荷時の設定は「0xC8D0 - 0xC8EF」です。

```
現在の I/O Base Address を選択して下さい.

0xC8D0 - 0xC8EF
0xC2D0 - 0xC2EF
0xC4D0 - 0xC4EF
0xC6D0 - 0xC6EF
0xC9D0 - 0xC9EF
0xCAD0 - 0xCAEF
```

(6) 新しいI/Oアドレスを選択します。他の拡張アダプターの設定と重複しないよう、あらかじめ調べておいた空きリソース値を指定してください。この設定値は、ドライバーをインストールするときに使用しますので、記録しておいてください。

新たな I/O Base Address を選択して下さい.

*0xC8D0 - 0xC8EF
0xC2D0 - 0xC2EF
0xC4D0 - 0xC4EF
0xC6D0 - 0xC6EF
0xC9D0 - 0xC9EF
0xCAD0 - 0xCAEF

注意

「*」は現在の設定値を示します。また、「！」は他の拡張アダプターによって使用されているアドレスを示します(「！」が表示されるのは、そのアドレスが他のアダプターによって使用されていることをCFG98.EXEが検出できた場合だけです。「！」が表示されていなくても、そのアドレスが必ず未使用とは限りませんのでご注意ください)。

(7) インタラプト(IRQ)を選択します。他の拡張アダプターの設定と重複しないよう、あらかじめ調べておいた空きリソース値を指定してください。工場出荷時の設定値は「IRQ 3」です。この設定値は、ドライバーをインストールするときに使用しますので、記録しておいてください。

インタラプトレベルを選択して下さい.

IRQ 3
IRQ 5
IRQ 6
IRQ 9

(8) 設定が完了すると、変更前の設定値と変更後の設定値が画面に表示されます。何かキーを押して、「CFG98.EXE」を終了してください。

(9) フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、コンピュータの**リセットスイッチを押すか、電源をいったんオフにしてから再度オンにしてください**。本製品がリセットされ、手順(1)～(8)の設定が有効となります。

注意

「CTRL」+「GRPH」+「DEL」によるリセットでは、本製品が完全にリセットされず、手順(1)～(8)の設定が有効にならないことがあります。

3. ドライバーのインストール

続いて、ドライバーのインストールを行います。

(1) Windows98 を起動します。

(2) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。「ネットワーク」ダイアログで「ネットワークの設定」タブを選択し、「追加」ボタンをクリックします。

図 2.4.4

(3) 「ネットワークコンポーネントの選択」ダイアログが表示されます。「アダプタ」を選択してから、「追加」ボタンをクリックしてください。

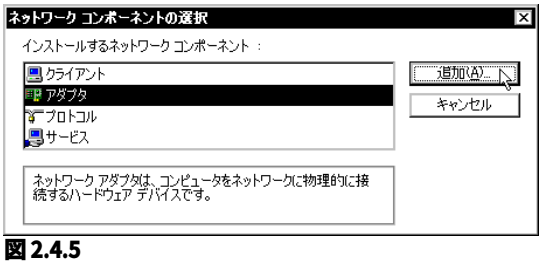

図 2.4.5

(4) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

図 2.4.6

(5) 次のダイアログが表示されます。本製品付属のドライバーディスクをフロッピードライブに挿入し、「配布ファイルのコピー元」に「B:\windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

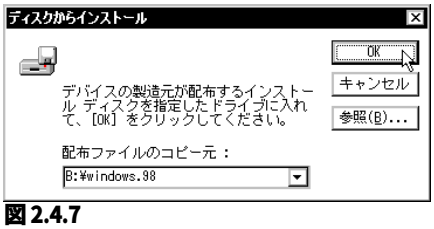

図 2.4.7

(6) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されるので、「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

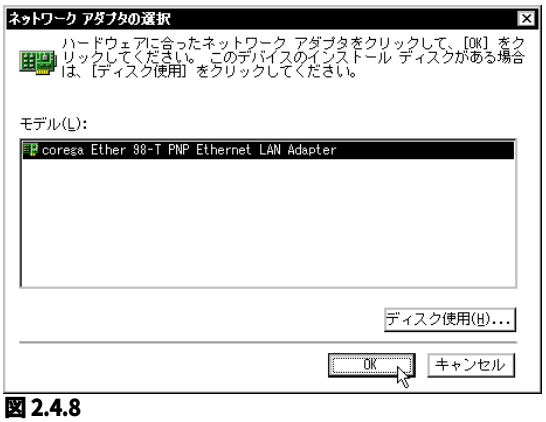

図 2.4.8

(7) しばらくした後、「ネットワーク」ダイアログに戻ります。「現在のネットワークコンポーネント」に「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter」が追加されていることをご確認ください(図 2.4.9)。

4. リソースの設定

続いて、本製品のリソース設定を行います。

(1) 「現在のネットワークコンポーネント」から本製品を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。

図 2.4.9

(2) 「corega Ether 98-T PNP Ethernet LAN Adapter のプロパティ」ダイアログが表示されたら、「リソース」タブをクリックしてください。「割り込み番号(IRQ)」と「I/Oポートアドレス」に「CFG98.EXE」で設定した値を入力し、「OK」ボタンをクリックして下さい。

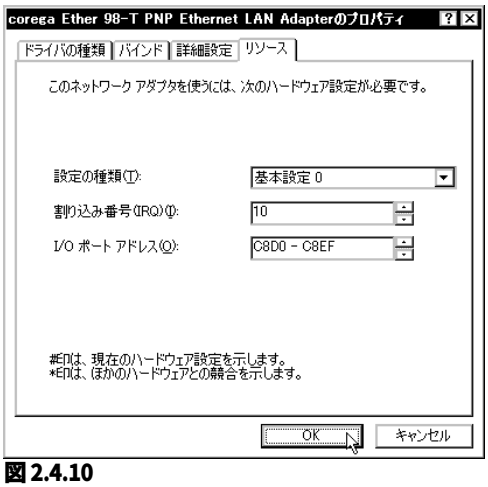

図 2.4.10

(3) 再び「ネットワーク」ダイアログに戻るので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(4) ファイルのコピーが開始されます。コピーの途中でWindows98のCD-ROMの挿入を要求される場合は、「**1.2 ドライバーの新規インストール**」の**手順(5)**にしたがってください。

(5) コピー終了後しばらくしてから(1～2分ほど)、次のダイアログが表示されます。フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

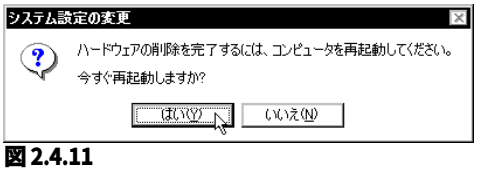

図 2.4.11

(6) 以上でインストールは完了です。引き続き、「**1.3 インストールの確認とアダプターの設定**」にお進みください。

3 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

3.1 LINK LED は点灯していますか？

LINK LEDは、ハブ（またはスイッチ）と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方の LINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。また、クロスケーブルで 2 台のコンピュータを接続している場合も、正しく接続されていれば両方の LINK LED が点灯します。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「**ストレートタイプのケーブル**」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあります。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「**MDI-X**」や「**to pc**」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。

3.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTP ケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長**100m**と規定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか？ 10BASE-T では「**カテゴリー3**」以上のUTPケーブルを使用しなくてはなりません。
- UTPケーブルに問題はありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

おことわり

- 本書は株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1998 年 7 月 21 日　　Rev.A　　初版